くにみ

【第24号】
昭和34年9月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

おじいさん おばあさん に 朗報……老令福祉年金 身体障害者・母子家庭にも

国民年金法

社会保障制度の総仕上げともいうべき「国民年金法」が成立して、来る十一月一日から無拠出の福祉年金が実施されることになった。ついては左記該当者はもれなく請求手続きをするよう町役場では望んでいる。

一、老令福祉年金
1、本年十一月一日現在で満七十才以上（明治22年11月1日以前に生まれた者）の日本国民に月額一、〇〇〇円支給される。
2、明治22年11月2日から明治44年3月31日までの間に生まれた者は七十才に達したときに請求する。

二、障害福祉年金
身体障害者（両腕、総ての指又は両足を失った程度）で二十才以上の者に月額一、五〇〇円支給される。

三、母子福祉年金
夫と死別し、義務教育終了前の子のいる母子世帯で、二十五才以上の子のいない世帯に月額一、〇〇〇円、第二子以降月額二〇〇円加算）支給される。

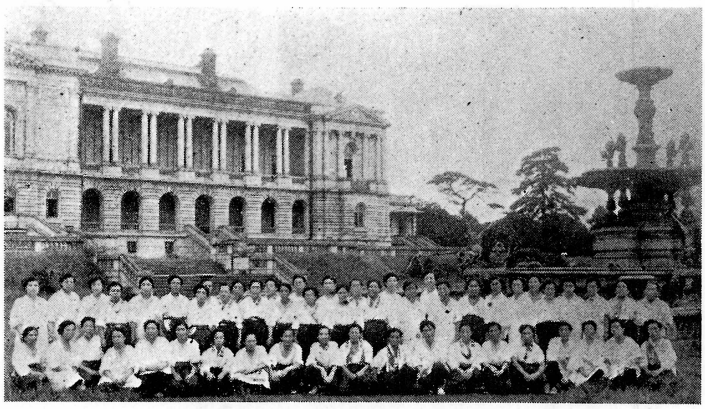
◎なお昭和三十四年十一月一日以降それぞれの受給権者となる方にはその翌月から支給される。

◎以上の方でもいろいろの条件で支給を制限されることがあるので詳しいことは役場の係でおきき願いたい。

◎役場にお出かけのときは、印鑑、公務扶助料、遺族年金、恩給等公的年金の受給者はその証書をお持ち下さい。

◎請求手続をするとき必要な書類
1、老令福祉年金……戸籍抄本一、住民票謄本一、福祉年金所得状況届
2、障害福祉年金……同前
3、母子福祉年金……夫の死亡事項記載ある戸籍謄本、住民票謄本、福祉年金所得状況届

◎福祉年金支払は明年三月に（十一月から二月まで四ヶ月分）郵便局の窓口で支払われる。（厚生課で調査）



当町内の教育状勢

教育長　春日佑幸

新聞やラジオなどによるといろいろと日教組のうごきが報道されていますが、当国見町内の先生方にはそのようなうごきにまきこまれているお方は一人もなく、みな熱心に私どもの子女の教育に努力していてくださいます。

私どもは先生方のこの崇高な教育愛を感謝するとともに今後も教育について研修をつみ協力して生徒児童の将来に希望をもたせたいとおもいます。

34年度馬鈴薯競技会成績

国見町農業改良推進員会は町役場と共催で馬鈴薯の増産競技会をやり、先日審査の結果その成績が発表された。晴の入賞者次の通り。

一等　石川　暢男　森山
二等　八島　健一　高城
全　佐藤　直哉　徳江
全　大波　幸治　全
三等　徳江源重郎　全
全　佐藤　英治　西大枝
全　菊地　弁治　全
全　佐藤　正夫　川内
全　熊坂　正一　内谷
全　渋谷　一衛　光明寺
全　近野　敏正　森山
全　八巻　秀雄　徳江
全　佐久間善太　塚野目
全　太田　重吉　徳江

仕奉労勤皇居

お母さん元気で帰る

去る四日朝出発した藤田婦人会の皇居勤労奉仕隊五十余人は、無事その大任をはたして十日朝八時の汽車で、元気に帰って来た。一行は五日から八日まで四日間、皇居内や大宮御所で勤労奉仕をし、九日には朝から江の島、鎌倉、横浜方面の見学をし、殊に八日には、天皇、皇后両陛下ときわめてま近にお目にかかり、その感激はまださめやらぬものがあった。

この記事は次号に掲載する予定であるが、とりあえず記念写真をのせる。

自動車等は新番号標にとりかえて下さい

昭和30年8月31日までに交付をうけた旧自動車登録番号や同年6月30日までに交付をうけた小型二輪及び軽自動車の旧車両番号標は明35年6月30日までに全面的に新番号標（ひらがな文字の表示あるもの）に更新して下さい。くわしいことは町税務課でおきき下さい。（税務課）

映写機購入本決り

「北辰」二十六万円

昨年以来皆様の非常なる御配慮と御協力をいただきました映写機購入の件につきまして数次にわたる研究会や試写会によって検討しました結果、福島市スター電機商会より、「北辰」を購入することになりましたので取敢えず紙上をもってお知らせいたします。

尚購入しましたなら、披露行事や操作技術の講習会、運営打合会を開き、広く、永く皆様に御利用いただくようつとめるつもりであります。

吾妻登山の記（そのニ）

七月二十六日

六時出発というのに四時頃ごそごそおき出す。朝の冷気は心持よく肌をさす。山の朝は早い。もう小屋は炊煙で一ぱいだ。腹が鳴る。コンデシヨンは上上だ。空があかね色に輝きだすと、山の樹も、小屋も、小屋のけむりもみなあかね色に輝く。見渡す限りの雲海から大きな黄金の陽がのぼる。今日も天気がよいぞ。

元気に出発、ガンちやん坂を越すともう五色沼だ。昨冬示道標を修理中ガンちやん坂附近でナダレにあい遭難した吾妻山の会員佐藤信雄君の遭難碑に一同瞑目、その霊をなぐさめる。

一切経の頂上に立つとさすがに高山だ。陽はキラキラ光は早い。もう小屋は炊煙で一ぱいだ。腹が鳴る。コンデシヨンは上上だ。空があかね色に輝きだすと、山の樹も、小屋も、小屋のけむりもみなあかね色に輝く。見渡す限りの雲海から大きな黄金の陽がのぼる。今日も天気がよいぞ。

元気に出発、ガンちやん坂を越すともう五色沼だ。昨冬示道標を修理中ガンちやん坂附近でナダレにあい遭難した吾妻山の会員佐藤信雄君の遭難碑に一同瞑目、その霊をなぐさめる。

一切経の頂上に立つとさすがに高山だ。陽はキラキラ光は早い。雲海の孤島のように蔵王連峰が見えるのに吹く風は寒い。雲海の孤島のように蔵王連峰が見える。西吾妻のかなたには飯豊の山山、今日は磐梯もその全容をあらわしている。頂上で記念写真、女性モデルは大繁昌だ。噴煙を眺めながら下る。ヤマツバメがさかんに飛び交う。小富士に登り、火口を廻って桶沼に向う。

「五日ふりし雨晴るるらし山腹に吾妻のさきり天のぼり見ゆ」

斉藤茂吉の歌碑の立つふもと

を、バスが土煙りを立てて疾走し、ハイヒールの女性がこの歌碑の前でビールで乾杯する日も間近かだろう。ハイカーは西吾妻にでも逃避せねばなるまい。吾妻も変ったものだ。

吾妻小屋から兎平、そして鳥子平へ、この辺は工事の最中で、小鳥の声ならぬハツパを知らせるサイレンがけたたましい。景場平で昼食、高山には霧が押して来た。ギンリヨウ草が咲いている。ユウレイのような白い茎？白い葉？白い花？ちよつとロマンチツクな花だ。

景場平から幕の湯までの下りを一気に下り、野地はもうすぐだ。

「山よさよならごきげんよろしゆう。又来るときにも笑っておくれ。」

（野村和夫記）

五年目の結核検診

十月一日から……藤田、小坂、大枝
十二月一日から……大木戸、森江野

今から五年前、公民館をはじめ町内各種団体の総意にもとずき、新生活運動の一環として、国見町結核撲滅運動を展開してから丁度五年目を迎えました。第一期五ヶ年計画を目標に堅い申合せと、皆さま方の御協力を頂き、一般住民の徹底した健康診断をすゝめてまいりました結果、患者の発見数も、三十年七六名、三十一年二二名、三十二年一三名、昨年度はわずが六名というように年毎に減ってまいりました。そしてこれらの患者のうち、完全になおった方が三七名、医者にかからなくともよくなった要注意者が四八名、計八五名で、転出や死亡を除いた残りが三十四、五名となりました。おそらく本年度の新発見患者さんは二、三名位でしよう。つきましては本年度の検診こそは、第一期五ヶ年計画の最終の締めくくりでありますので、今年も是非検診を受けられるよう、今から御願いいたします。尤も結核予防法と町条例にもとずくこの事業は、来年以降もつづけて実施することになりますが、この際、これまで病気や出稼ぎその他一度も検診しなかった、ごく少数の方々も今年こそは必ず受検されるよう切望いたします。

「たばこは町内小売店から」

愛煙家の皆様にお願い……

地方税法の改正により「たばこ消費税」が創設されてから六年目、当町に専売公社から納入される「たばこ消費税」は、昭和三十三年度においては百九十五万一千円、税収入総額の九パーセントを占めています。これは自転車荷車税の廃止の代りに「たばこ消費税」がつくて愛煙家の皆様がおすいになる分全部が町内の小売店からお求めになるとすれば、たばこ消費税の収入はもつと増すものと考えられる。皆様の日常の心づかいで町の収入を増すことが出来るので、是非御協力の程をお願いしたいと税務課では希望している。

たばこ消費税として皆さんが納める税は一つにつき

バット	三円三〇銭
しんせい	四円四〇銭
ピース	四円四〇銭
みのり	四円九五銭
きくよう	六円六〇銭

となります。おたがいわが町の経済協力のため、必ず町の小売店から買いましよう。

町への税率が引上げられ、町の小売店で販売した金額の十一パーセントが専売公社から町に納入されるものである。した

みちのくの旅（1）

㈠ 朝の盛岡

八月二十八日、朝四時四十五分、あこがれの盛岡に着く。待合室で朝食をとるほどに、やがて岩手中央観光バス、ブルーリボン号がくる。中津川の橋を渡り市内目抜通りに差かかる。かすかな興奮を覚えながらガイドの声に耳を傾ける。まもなく車窓左手に、石川啄木が若き日学んだ盛岡中学が見える。続いて内丸裁判所庭前にある天然記念物「石割桜」を見る。地表高さ一、七㍍の花崗岩を割つて生育している老木である。彼方には二五〇〇人を収容できる高さ二十五㍍の高塔県会議事堂や県立図書館など、日本一の大県だけに堂壮な建物が多い。

岩手県は本州の十四分の一、四国四県の面積に匹敵する広さを有する。観光の面でも、農林畜産業、金属鉱山業の面でも全国一を誇っている。もしそれ人物の面になると、石川啄木、宮沢賢治、新渡戸稲造、田中舘愛橘、佐藤昇介、原敬、斎藤実、後藤新平、田子一民、郷古潔等多士済々であることは人のよく知るところである。真に岩手県は、偉人輩出の温床である。

まもなくバスは盛岡城址につく。天正十九年浅野長政の勧請により、十余年の歳月を要して築いた旧南部藩城址も今は只石垣のみ、展望台より見おろす森の都、盛岡の朝景色。六時を知らせるオルゴールのメロデー。まこと盛岡は詩の都である。

（つづく）

（村上光芳記）

九月十五日 としよりの日に敬老年金

92人（80才以上）に五〇〇円づゝ

昨年から始められたわが国見町の敬老年金はことしも九二名の高令者に五〇〇円づつ贈られた。

尚県からは88才以上の高令者に三〇〇〇円づつ贈られたがその氏名次の通り（住所生年）

玉手　タツ（西大枝・慶三）
鈴木　直吉（川内・明二）
桜沢　チヨ（高城・元元）
松浦　コマ（大木戸・明元）
徳江　みな（森山・慶元）
鴨田　太記（内谷・明三）
赤坂　ロク（〃・慶三）
佐野久右工門（徳江・明三）
高橋幸之助（山崎・慶三）

◎農繁期のつかれと栄養に気を付けましょう

◎おとしよりを大切にいたしましょう……常時としよりの日

点数制をやめ 和やかな体育祭典へ

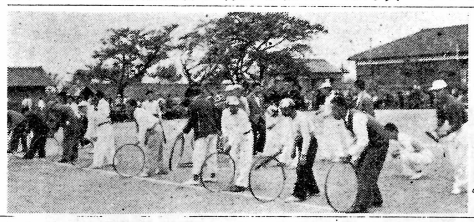
第6回町民体育大会

10月4日……県北中で

町村合併と共に発足した本大会は、名実共にわれらのスポーツとレクリエーションの祭典として町民にしたしまれ、年ごとにその参加者を増し他町村からも注目されている。ことしは、更にその趣旨を徹底し、各種団体や各地区の創意工夫と積極的参加を歓迎するため、何回かの協議会を開き、思いきった改革をすることになった。

◇会場は県北中で

年年盛大になったこの大会は藤田小学校の運動場ではせまくなり、学校の教材園その他の大切な施設をこわしてしまう心配もあり、ひろびろとしたところでゆうゆうとしてやることになった。



◇時は十月四日(日)

藤田の祭礼と森江野方面の養蚕で難航したが、決局養蚕家が大乗的にゆずって四日と決定。雨天の除は十一日とする。

◇採点制の廃止

対抗意識を高め、体育への関心を深めるために優勝杯（昨年から楯）を懸けてあったが反面、身体的、精神的な弊害もみとめられたのでこれをやめることにした。しかし、これがため、参加者の競争意欲や町民の興味関心を減退しないよう他の面で十分工夫してある。

◇種目は大衆的に

体育大会というと、とかく選手競争か一部体育愛好者だけのものになりやすいが、わが町の大会はその名の示す通り町民みんなのレクリエーションの会である。誰が見ておもしろく、やればなおおもしろい。そして町民であるかぎり誰でも参加できる、ほんとうにわれわれの大会でありまず。

◇みんながまざる

一般競技

○五十メートル走
男四十以上女三十以上の人
○百メートル走
右以下の人
○千五百メートル走
○輪廻し
○おしどり競争
札合せ二人三脚です
○親子競走
子は小学生とし、実親子であること
○両手スプーンレース
○支度競走（消防団）
○マラソン（青年団）

◇おもしろい

リレーレース

○議会の常任委員会リレー
○青年男の二千メートルリレー
○青年女の八百メートルリレー
○部落会対抗六百リレー
一部落男四人女二人
○職場対抗四百リレー
一チーム男三人女一人
◇団体競技は方部対抗と紅白対抗の二本建て
方部対抗として
○青年女のボール運び
○婦人会の玉入れ
○消防団の水勢競争
○PTAのボール送り
○総合綱引
紅白対抗として
○青年男女で鈴割りと五人二脚リレー
○婦人会は球ころがし
○商工会はだるま運び
◇大会の華は各種演技
○青年団のダンス
○婦人会の民踊
鶴亀音頭、南国土佐を後にして
○青年団と婦人会で民踊
新潟甚句
○消防団ではポンプ操法
○剣友会は野試合
尚各地区独自の出し物もあるので他の大会にはみられないおもしろさがあると思われる。森江野地区からは早くも「親子豊年踊り」の出演が申出られている。
◇申込について
団体関係のものはすべてその団体長がまとめる（単位団長から連合団長へ）その他の種目は学校長がまとめる。

人生学校

目玉をみがこう

春日佐幸

われらは尊い存在だ
みな万物の霊長だ
八犬伝ではないけれど
だれもが玉だというべきだ
○……
酔生夢死の日を送り
動物的な本能の
しげきに生きてゆくならば
けものと同じわけなんだ
○……
だからわれらは日常を
人生修行の場所として
たえずおのれをみがきあげ
澄んだ頭脳や目の玉を
ただしくそなえていたいのだ
○……
あたまがすんでいないなら
どうして道理を考える
その目がくもっているならば
どうして真理がみえようか
竜をえがいた場合でも
仏をつくった場合でも
その眼を入れるということが
一ばん大事なことなんだ
（これがいわゆる画竜点ぜいとか開眼である）
○……
だから古人もこのことを
かたり伝えてきたわけだ
つまり人生修行とは
すぐれた人の考えや
すぐれた人の行いを
学んでそれを体験し
実行するということだ
○……
とにかくふしぎ縁により
人と生れてきたからは
尊い人生学校の
修行のきもちがあるべきだ

波紋は広がる 大枝のよい子たち

夏休中の子供の奉仕活動が部落の人たちを感激させ、地域民の奮起を促した心あたたまる美談を紹介します。

大枝小学校六年生の鈴木節子、玉手八重子、五年生の玉手京子、玉手和歌子さんら四名が、たまたま遊んでいた竹の内部落公民館の壁が、大へんこわれていることに気がついた。そこでこの壁はりをやろうとたちまち相談がまとまり、家人に話して翌日、新聞紙やのりを持寄り、午前中かかって一生けんめいやった結果、さしも汚なかった壁もみごときれいにでき上った。その後も時時掃除をしたり、手入れをやっているので、見ちがえるばかりになった集会所の姿を見た部落の人たちは、おぶった子に道をおしえられたとみんなで感謝している。

このささやかな奉仕活動が全校の話題となり、波紋は次から次と広がって、今や各種の奉仕活動が全地域にわたってくり広げられている。

町内PTAかけある記

五年つづきの豊作を告げる初秋の一日、愛車のペタルをふんでかけめぐるの記でもらしがたくさんあることをおことわりしておきます。（S生）

○藤田小の巻

三年計画を一年でピアノ購入する話

十六万円の映写機に一年がかりでうろついていると、き五十一万のピアノを半年でものにしたのは藤田小のPTAだ。三十三年度の卒業生がまいた三万のたねが、PTA予算で九万円（三十三年度四万円、三十四年度五万円）三十四年度の卒業生四万円、特志寄附十八万円、一般寄附二十万円と連鎖反応的に、出すも出したり、あつめる方も達者である。樋口会長、古宮校長共にさすが大御所の貫録十二分と、まず以つて合格点を献上して小坂に向う。

○小坂小の巻

砂漠の中にオアシスをつくる話

小坂小の校庭は広さにおいては感心させられるが、無味乾燥なことにおいてまた寒心させられる。PTA感ずるところあり、大枝六万円を投じて雲梯、ジャングルを設備する。正に砂漠にオアシスの感あり。更に部落郷倉を買って燃料庫を作る。佐藤佐市会長さん、構想の豊かなる景の如しとのこと、ますます自重自愛されたい。

○森江野小の巻

人的環境の整備は社会教育の充実にある話

松浦前校長や歴代PTA会長のはたらき、地域社会の絶対的協力によって、設備面が一応水準に達しているため、鈴木新校長や石川PTA会長は学校教育の運営の面に力を注ぎ、特に夫妻学級、成人学級、若妻学級、青年学級など一連の社会学級にすばらしい実績をあげている。いよいよ教育の本質にくい入ったとの感。今回の映写機購入の口火をきったのも石川会長であった。盆踊の改善や校外補導の徹底など、凡人の意表に出ることが多い。

○大木戸小中の巻

よだれがたってたまらない話

今様弘法清水の話や、国道工事で思いがけぬ幸福が舞いこんだ話は、これまでたびたび本紙上をにぎわしたので、大低たねがつきたではないかとお見舞にまいったつもりの記者は、一歩校門をはいると自分の眼を二三べんこすった。ひろびろとした校庭の一角にベンキの色もあざやかなジャングル、スベリ台、ブランコ、雲梯が立ちならんでいる。これはPTAの寄附三万五千円がもとになって出来たもの、玄関わきには六角形の美しい小鳥小屋、これは水道工事請負者山鉄工業所の寄附で時価二万五千円のもの。小鳥購入費として貝田果樹組合（会長松浦留二郎氏）から三千円の寄附があり、大木戸全住民からは給水工事費として十万円の寄附がまとまり、大沼忠四郎氏からまたまた八ミリ撮影機及び映写機一式（価格八万八千円）並びに上等座ぶとん二十枚の寄附があったとの事、いやはやどうもたえる自分の耳をうたがうようなことばかり。菊地校長こみあげる喜びをおさえながら、この地区の方々の熱烈な教育愛郷土愛の精神にこたえるために、一日も早く運動会でもやりましようという。運動会は町のトップを切つて今月の十五日だ。

×……×

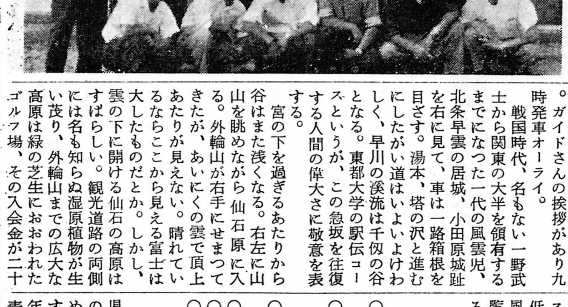
粗筆暴言おゆるし願います。【写真は大沼氏】

修学旅行記（一）

半沢博

箱根へ

夜のとばりの明けそめた四時三十分、上野に着く。荷物の一部を宝ホテルの人に預けてすぐ東京駅へ行き小田原行を待つ。その間洗面をしたり、第二日目の準備をととのえる。心配した天気は先ず上の部。晴れた窓に京浜地区を眺めながらズーズー弁で人気を博す？



横浜、藤沢、国府津を過ぎ、八時十二分小田原着。駅前には貸切バスが待っていた。光明寺出身の桜沢さんが友人と二人、案内かたがた参加、総勢三十人足らずで大型のバス貸切り、ちょっと豪勢な感じ。ガイドさんの挨拶があり九時発車オーライ。

戦国時代、名もない一野武士から関東の大半を領有するまでになった一代の風雲児、北条早雲の居城、小田原城趾を右に見て、車は一路箱根を目ざす。湯本、塔の沢と進むにしたがい道はいよいよけわしく、早川の渓流は千仞の谷となる。東都大学の駅伝コースというが、この急坂を往復する人間の偉大さに敬意を表する。

宮の下を過ぎるあたりから谷はまた浅くなる。右左に山山を眺めながら仙石原に入る。外輪山が右手にせまってきたが、あいにくの雲で頂上あたりが見えない。晴れているならここから見える富士は大したものだとか。しかし、雲の下に開ける仙石の高原はすばらしい。観光道路の両側には名も知らぬ湿原植物が生いい茂り、外輪山までの広大な高原は緑の芝生におおわれたゴルフ場。その入会金が二十万円とはちょっとうらやましいやらこどもやけるやら。こんなに広くて平なのに、畑にしたら何百町歩になるかな、などとやっぱりお里は争えぬ。芦の湖も見える高台でしばらく休憩。仙石原に向ってホースの一斉放射。雲はますます低く、富士は見るべくもない。風も大分強くなってきた。遊覧船は大丈夫かなと気がもめることおびただしい。

【写真】仙石原の一行

各校の運動会

○大木戸小中学校は九月十五日拡張された運動場で行う
○県北中学校は同じく十六日体育発表会の名で新構想による
○藤田小学校は例により秋分の日（二十四日）
○小坂小学校は九月三十日
○大枝小中学校十月一日
○森江野小学校十月六日

青少年巡回文庫

県立図書館では地方の青少年の読書活動をさかんにするために、各町に巡回文庫をまわすことにした。わが町にも明年三月まできていますから、青年各位はもちろん一般成人の方も大いに利用してください。

編集後記

◎雑草はうっちやっておいても茂るが、よい芽は手入れしないとしぼんでしまいます。
◎子どもは大人のかがみ、どんなあとつぎがほしいかは自分で見本を示すことです
◎町民体育大会は郷土社会の縮図です。みんなでなごやかにやりましょう。
◎ことしこそ豊作疑なし、財布の中も、また心の中も豊かになるよう祈ります。
◎結核撲滅まい一いき、他の病気もなくするよう努めましょう。
◎世間は広い。大いに見たりきいたりして知性を高めましょう。
◎念願の映写機、見せ物や飾り物ではない。使いようで効果はいろいろです。
◎社会保障制度一歩前進、皆さまとうぞ長生きして下さい。
◎「くにみ」は毎月十五日定期発行です。おくれぬよう配布して下さい。